

○横浜薬科大学による入試説明会の様子と生徒の感想



横浜薬科大学・文系（グリーンホール）



横浜薬科大学・理系（サブアリーナ）

〔生徒の感想〕 2年生 I.Yさん

横浜薬科大学入試担当 出雲 先生

本日の総合型選抜入試の説明会では有意義な時間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。大学が求める人材や途中退学者（希望学科の不一致による）の問題など、高校生では普段聞くことが難しい内容の話が大学教員の立場から説明いただけただけが大変勉強になりました。特に小論文や自己アピール文の書き方について、今後につながるお話を聞かせていただきました。私は自己アピール文を書くにあたって、自己分析が一番重要であると感じました。自己分析をすることにより、経験を元にした詳しい内容が書きやすくなること。また、自己アピールの文字数が少ない大学では、話をまとめて書くことも重要になります。3年生になったとき、必ず先生のおっしゃった自己分析が必要不可欠になると思います。今後、普段の出来事から問題点を考え、対策を立て、その理由を考える論理的思考を育むことを大切にしたいと思います。

〔生徒の感想〕 2年生 M.Fさん

横浜薬科大学入試担当 出雲 先生

本日はお忙しい中、私たちのために時間を作ってくださいありがとうございました。

面接する前には「アドミッションポリシー」「ディプロマポリシー」「カリキュラムポリシー」の3つを大学のホームページや受験案内の冊子で確認することが大事であるということを知りました。この3つのポリシーは面接で聞かれることもあり、答えることが出来ないと大学側が求める受験生の「大学での勉強や生活にやる気や熱量を持っている。大学生活に対応できる。」という点に当てはまらず落ちてしまうかもしれないので学科などのポリシーを確認することは大切だと思いました。自己アピール文や面接の説明では「入口」→「中」→「出口」の3つに分けて教えてくださりとても分かりやすかったです。自己アピール文では書くべき項目3つとして、「入口」の志望動機・「中」の勉学意欲・「出口」の将来像があり、①自分を知ること（自己分析）②相手を知ること（志望校を調べる）の2つも抽象的ではなく具体的に書くことが大切であるとわかりました。

今回の出雲先生の話聞いてたくさんのことを学ぶことができました。具体的な例を提示してくれてとても分かりやすく面白かったです。また機会がありましたらぜひお話を聞きたいです。